



教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

東浦町SP通信

～東浦町では、学生ボランティアを“職員の仲間”という思いを込めて、
「SP」または「スクールパートナー」と呼んでいます。～

第 21 号

2025 年 3 月 6 日

編集 緒方 なな
東浦町教育委員会
SPコーディネーター

新しいウィークリーSPさんが続々と……!!

年が明けた1月から、「ウィークリーSPとして活動したいです。」と申し出てくれるSPさんがたくさんいました。新たに登録・申込をしてくれたSPさんもありました。嬉しいです。教員採用試験の3年次前倒し選考が始まった2024年から、学生さんの活動時期も少しずつ変化してきていると感じています。忙しくなった学生さんも多いのではないのでしょうか……？それでも、「現場で学びたい」「子どもたちと関わる中で、教師になるための準備をしっかりと進めたい」そんな学生さんが多いのも、実感しています。教員採用試験の倍率が下がっている傾向は続いているものの、東浦には「先生になりたい！」と強い意志を持って、意欲的に活動するSPさんがたくさん来てくれます。



←生路小 岡SP

大学3年生ながら、安定感抜群！笑顔で、表情豊かに子どもたちに接してくれていました。教室の中を歩きながら、いろいろな子をまんべんなく気をかけているのが伝わってきます。きっと脳内フル回転。話をする時、話を聞く時は、しっかり子どもたちの目を見る岡SP。素敵です。

生路小 神谷SP→

養護教諭志望の神谷SP。1年生ながら、大学の春休みを利用して週2回、ウィークリーSPとして活動しています。意欲・意識の高いSPさんです。養護教諭になるとじっくり普通の授業の様子を見ることはできないかと思います。SP活動で、「普段子どもたちがどのように過ごしているのか」「先生方がどのように指導されているのか」たっぷり見てみてください。



←石浜西小（緒川小） 石川SP

神谷SPと同じく、春休みを利用してウィークリーSP活動をしている石川SP。石浜西小と緒川小の2校で活動中です。様子を見に行った時、前に立っていたので、自己紹介をしていたのかな？実際に前に立つと緊張しますよね。ナイスファイト！SPさんは自己紹介の機会をいただくことが多いです。現場に出てからも自己紹介の場面はたくさんあります。今のうちに、子どもたちの反応を見ながら、どんな“つかみ”が子どもたちに響くのか……チャレンジしてみてください！



←卯ノ里小 浦SP

わくわく算数教室などを経て、「ウィークリーに参加したいです！」と申し出てくれた浦SP。どのSPさんも、活動初日は緊張の連続。そんな中でも、子どもたちの様子を見ながら、先生方に確認をしながら、動けるのがSPさんたちのすごいところです。浦SPも迷いながら、考えながら、一生懸命動いてくれていました。

卯ノ里小 神守SP→

「この時間、話しかけても大丈夫ですか？」と先生に確認をしてから支援に入っていた神守SP。活動初日でもこうして先生方に確認ができる神守SP、頼もしいです。一人で頑張らせるか、仲間と乗り越えさせるか、大人の支援が必要か……担任の先生には活動・授業ごとに意図があります。その意図をくみ取って必要なサポートを探してもらえると、先生方も助かると思いますし、みなさんの“みる力”を養うこともできると思います。



←片葩小 水谷SP & 吉良SP



学生ボランティア事業のモデル校である片葩小学校では、ウィークリーSPさんが新しいSPさんの活動初日に校内を案内します。この日は超ベテラン！水谷SPが、吉良SPを案内してくれました。朝、学校に来たら何をするのか、どんな書類の提出が必要か、教室の配置、特別教室の場所など、活動時の動線を伝えてくれます。SPさんにしか分からない悩み、SPさんにしか分からない現場の細かな情報、先生方からの具体的な指示なども引き継いでくれます。新しく活動するSPさんも安心して活動をスタートできるシステムが整っています。水谷SP、学校に溶け込んでいました。さすがです。SPならではの情報をたくさんありがとう！



実はこの数年、小学校時代に関わった“SP”という存在を覚えていて、「自分も教師を目指しているので、SP活動をさせてください。」と登録をしてくれる学生さんがチラホラ増えてきました。東浦のSP活動は、間もなく14年目を迎えます。確実に、1つの文化として地域に根付いてきたなあ感慨深く思います。また、町内の小中学校にSP経験者の先生も増えてきました。先日も、SP経験者の先生のクラスに現役のSPが入っていました。「あの子についていてくれる？」と現役のSPさんに声をかけてくれていました。特に、活動初日は、どう動いたら良いのか？声をかけていいものかどうか？分からないことだらけです。きっと、その気持ちを汲んで声をかけてくれたのではないかと思います。有難いなと思うと同時に、これも1つの文化、繋がりだと実感する場面で、心がホッと温かくなりました。